

大分工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	経済学概説
科目基礎情報						
科目番号	30G405		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般科目		対象学年	4		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	古沢泰治・塩路悦朗著『ベーシック経済学』有斐閣アルマ, 2012年.					
担当教員	板倉 理友					
到達目標						
(1) 経済はどのようにして均衡が達成されるのか、また、市場の失敗とは何かを理解できる。 (2) 効率的資源配分はどのようにして達成されるのかを理解できる。 (3) 三面等価の原則や経済における長期モデルの特性について理解できる。 (4) 経済における短期モデルの特性や経済成長の特性について理解できる。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 経済のしくみについて理解できる.	経済のしくみについて十分に理解できる.		経済のしくみについてある程度理解できる.		経済のしくみについて理解できない.	
評価項目2 効率的資源配分について理解できる.	効率的資源配分について十分に理解できる.		効率的資源配分についてある程度理解できる.		効率的資源配分について理解できない.	
評価項目3 経済の長期・短期モデルについて理解できる.	経済の長期・短期モデルについて十分に理解できる.		経済の長期・短期モデルについてある程度理解できる.		経済の長期・短期モデルについて理解できない.	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 (A1) JABEE 1(2)(a)						
教育方法等						
概要	本講義は、経済学とはいかなる学問なのかを学びます。ミクロ経済学とマクロ経済学の初歩を学ぶことによって、現代社会において観察される経済現象とその背景にある経済社会問題を知り、自分なりの経済現象に対する体系的な見方を養うことを目的とします。					
授業の進め方・方法	経済のしくみと経済学、需要と供給、市場均衡、市場の効率性と政府介入、市場均衡と総余剰、市場の失敗と政府の役割、企業行動と財の供給、完全競争、消費者行動と財の需要、競争均衡と効率的資源配分、競争均衡経済厚生、ゲーム理論、展開形ゲーム、GDPとは何か、GDPに関連した概念、長期モデルⅠ、財市場、総需要ショック・総供給ショック、長期モデルⅡ、マクロ経済の短期モデル、短期における総生産の決定、人々の将来予想と経済変動、企業による価格決定、経済成長、資本蓄積と経済成長、日本経済とマクロ経済学、等々について学習する。					
注意点	復習する際には、ノートを参考にして理解を深めること。					
評価						
授業計画						
前期	1stQ	週	授業内容		週ごとの到達目標	
		1週	経済のしくみと経済学		経済のしくみが理解できる.	
		2週	需要と供給		需要や供給の法則が理解できる.	
		3週	市場均衡		市場の安定性が理解できる.	
		4週	市場の効率性と政府介入		市場の効率性と政府介入について理解できる.	
		5週	市場均衡と総余剰		余剰概念を理解できる.	
		6週	市場の失敗と政府の役割		市場の失敗と政府の役割について理解できる.	
		7週	企業行動と財の供給		生産費用と生産量が理解できる.	
	8週	完全競争		完全競争下での企業行動が理解できる.		
	2ndQ	9週	前期中間試験			
		10週	前期中間試験の解答と解説	消費者行動と財の需要	予算制約と消費選択が理解できる.	
		11週	競争均衡と効率的資源配分		パレート効率性を理解できる.	
		12週	競争均衡経済厚生		厚生経済学第1基本定理を理解できる.	
		13週	ゲーム理論		戦略形（標準形）ゲームが理解できる.	
		14週	展開形ゲーム		部分ゲーム完全均衡を理解できる.	
		15週	前期期末試験			
16週		前期期末試験の解答と解説				
後期	3rdQ	1週	GDPとは何か		GDPの概念を理解できる.	
		2週	GDPに関連した概念		総支出の内訳を理解できる.	
		3週	長期モデルⅠ		長期と短期の区別を理解できる.	
		4週	財市場		総供給と総需要のしくみを理解できる.	
		5週	総需要ショック・総供給ショック		生産性上昇、需要変化等を理解できる.	
		6週	長期モデルⅡ		物価水準と貨幣について理解できる.	
		7週	マクロ経済の短期モデル		名目価格の硬直性を理解できる.	
		8週	後期中間試験			
	4thQ	9週	後期中間試験の解答と解説	短期における総生産の決定	45度線分析を理解できる.	
		10週	人々の将来予想と経済変動		家計の将来予想を理解できる.	
		11週	企業による価格決定		価格決定と将来予想を理解できる.	

	12週	経済成長	生産関数を理解できる。
	13週	資本蓄積と経済成長	経済成長の基本方程式を理解できる。
	14週	日本経済とマクロ経済学	マクロ経済学から見た日本経済の状況を理解できる。
	15週	後期期末試験	
	16週	後期期末試験の解答と解説	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	公民的分野	自己が主体的に参画していく社会について、基本的人権や民主主義などの基本原理を理解し、基礎的な政治・法・経済のしくみを説明できる。	3	
			現代社会の考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。	3	
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	法令やルールを遵守した行動をとれる。	3	
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	3	
				技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を認識し、技術者が社会に負っている責任を挙げることができる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0